



平成21年3月期 第3四半期決算説明会

2009年2月2日 尼崎
2月3日 東京

メック株式会社

証券CODE:4971

URL <http://www.mec-co.com/>

第3四半期累計業績の概況



単位:百万円

連結

	平成20年3月期 第3四半期	平成21年3月期 第3四半期
売上高	6,704	6,153
営業利益	1,613	1,189
経常利益	1,615	1,064
四半期純利益	1,134	750

単体

	平成20年3月期 第3四半期	平成21年3月期 第3四半期
売上高	4,956	3,975
営業利益	681	136
経常利益	671	28
四半期純利益	429	27

第3四半期累計業績のポイント



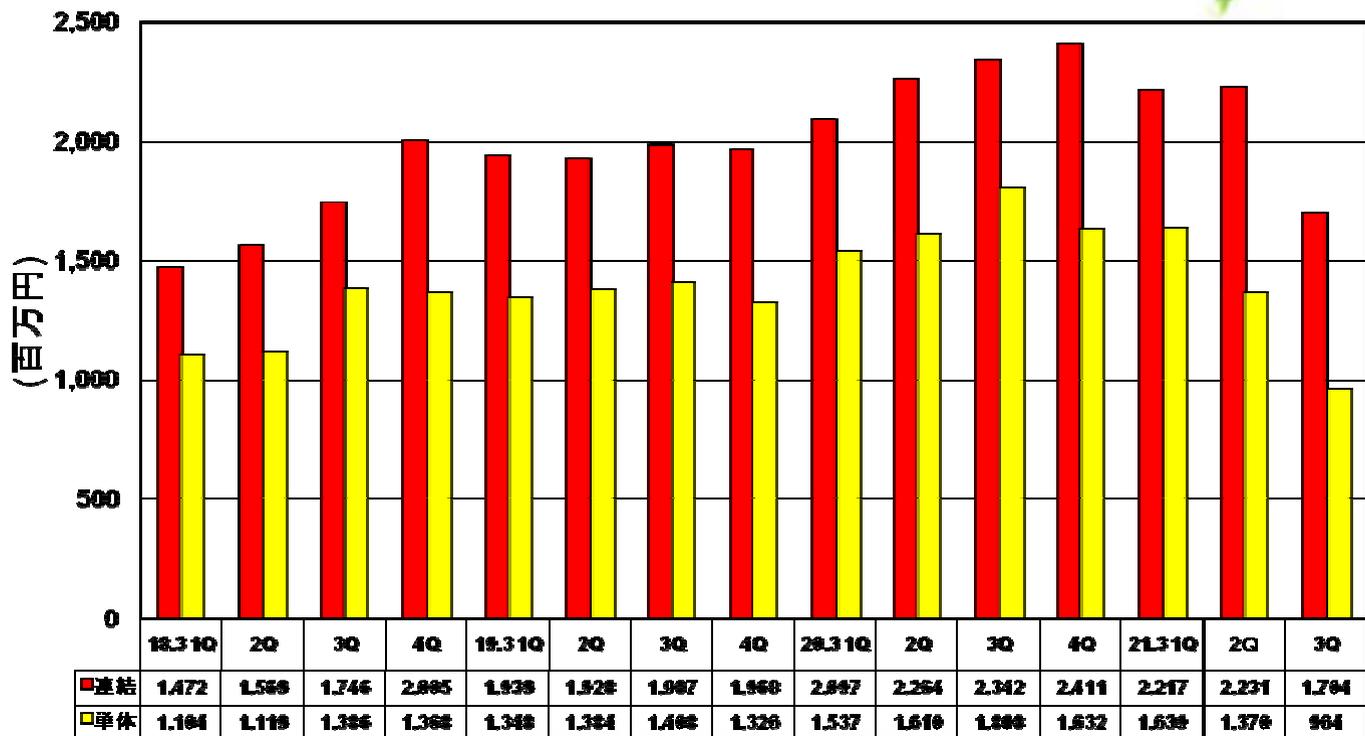
売上高は	61億53百万円(対前年比8.2%減)、
営業利益は	11億89百万円(対前年比26.3%減)、
経常利益は	10億64百万円(対前年比34.2%減)、
純利益は	7億50百万円(対前年比33.8%減)。

薬品売上高は 55億14百万円となり、
売上高に占める割合が 89.6% となった。
(前年同期は 57億57百万円、85.9%)

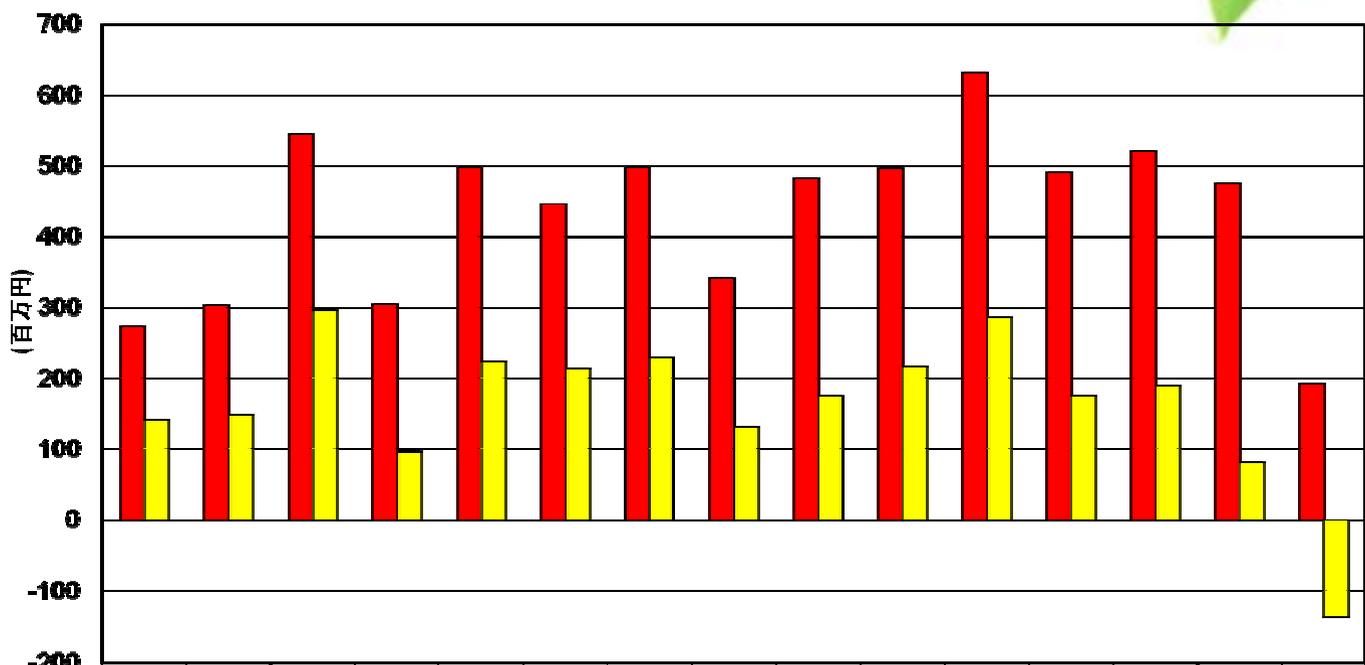
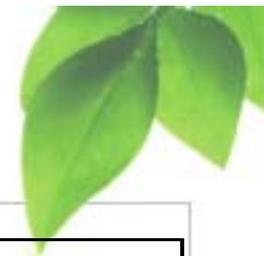
海外売上高比率は50.6% (前年同期は44.6%)

CZシリーズの売上は 27億96百万円となり、
薬品売上高に占める割合が 50.7% になった。
(前年同期は 30億48百万円、52.9%)

四半期 売上高推移

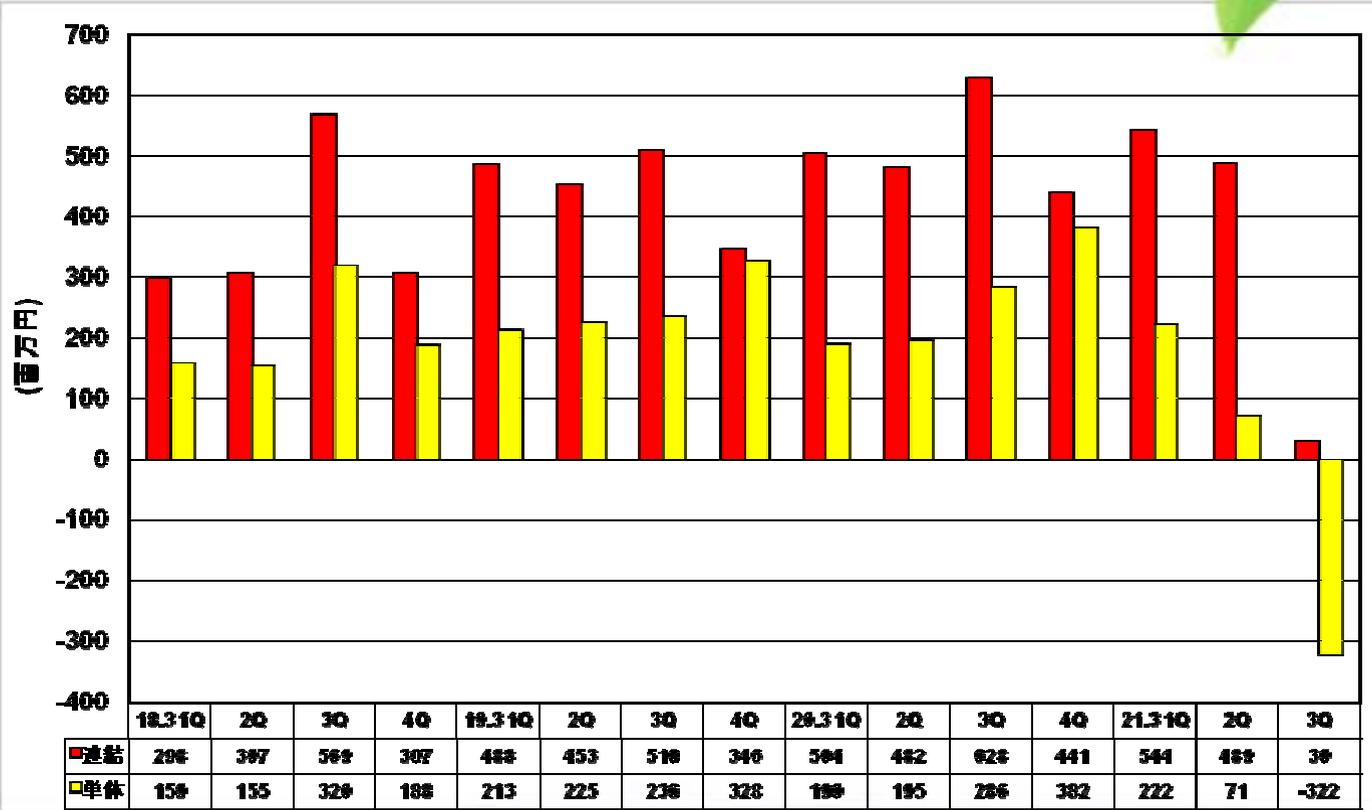
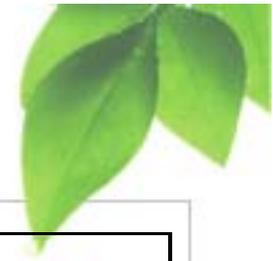


四半期 営業利益推移

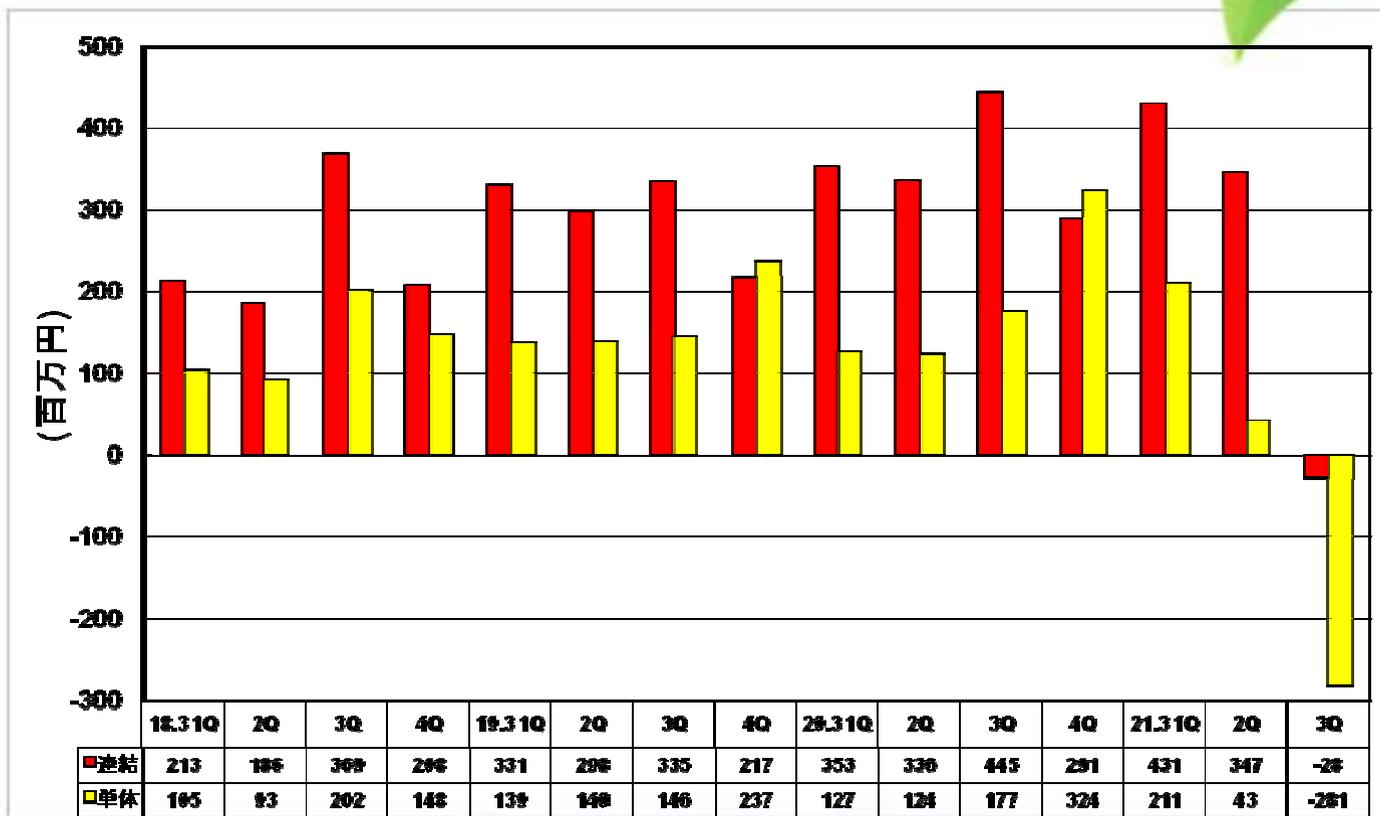
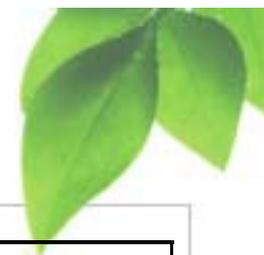


	18.3 1Q	2Q	3Q	4Q	19.3 1Q	2Q	3Q	4Q	20.3 1Q	2Q	3Q	4Q	21.3 1Q	2Q	3Q
■連結	272	303	544	304	498	445	498	341	484	497	631	499	521	475	192
■単体	141	149	296	96	225	214	229	131	176	217	287	176	198	82	-136

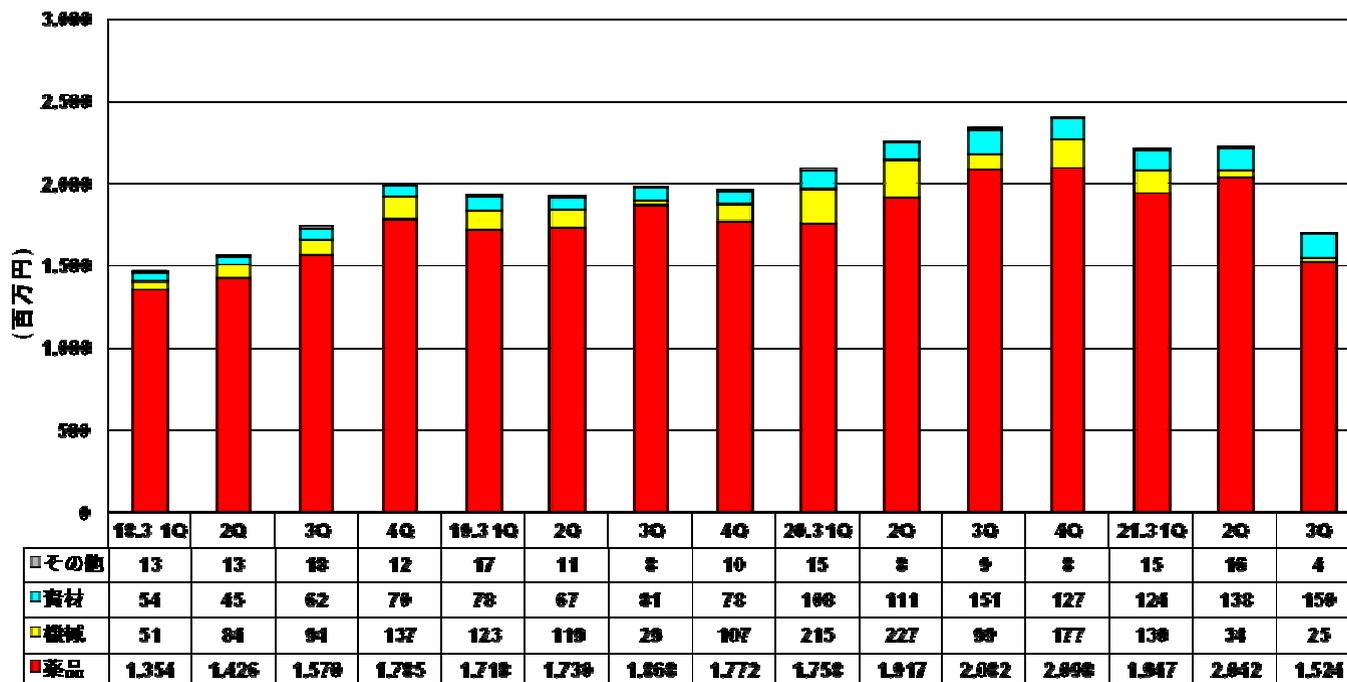
四半期 經常利益推移



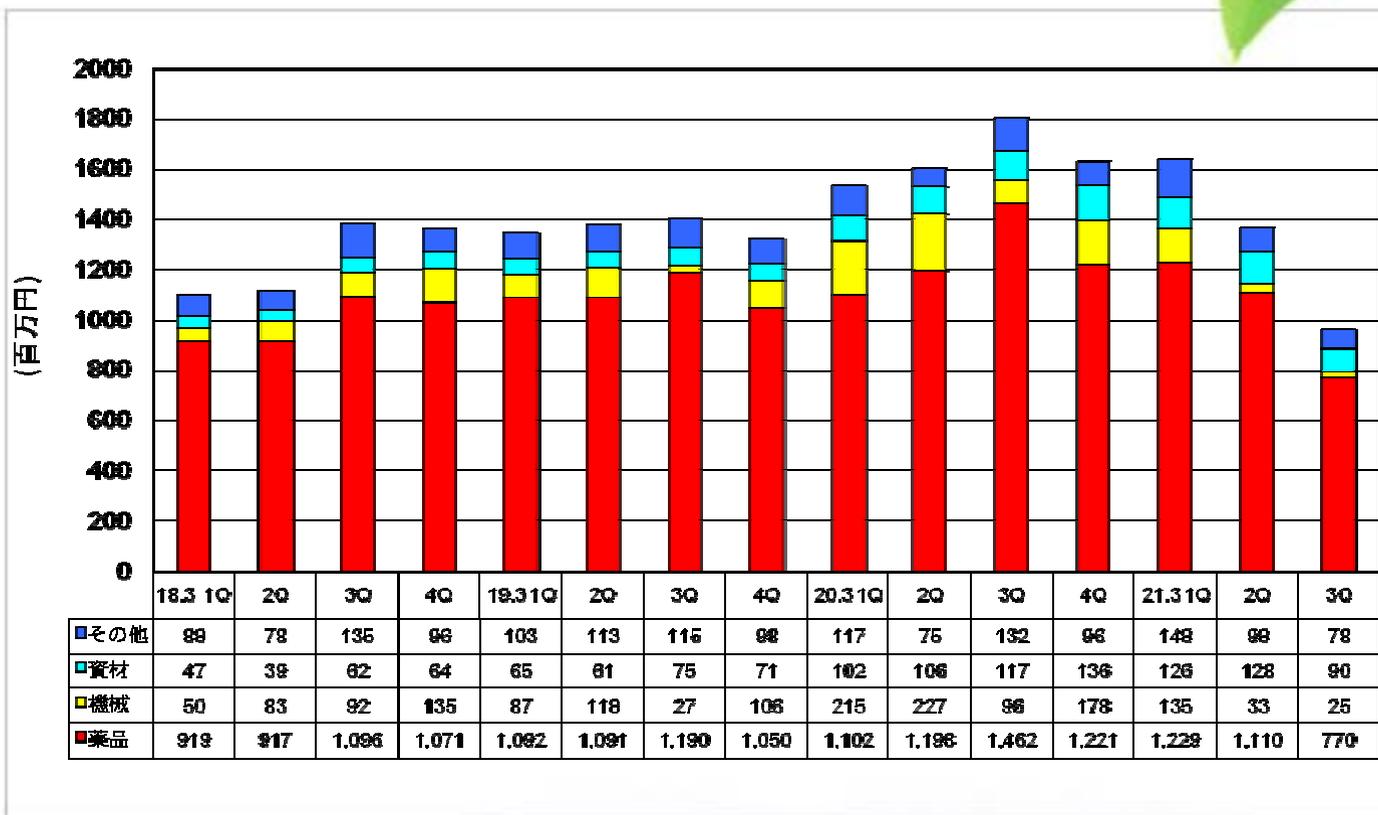
四半期 純利益推移



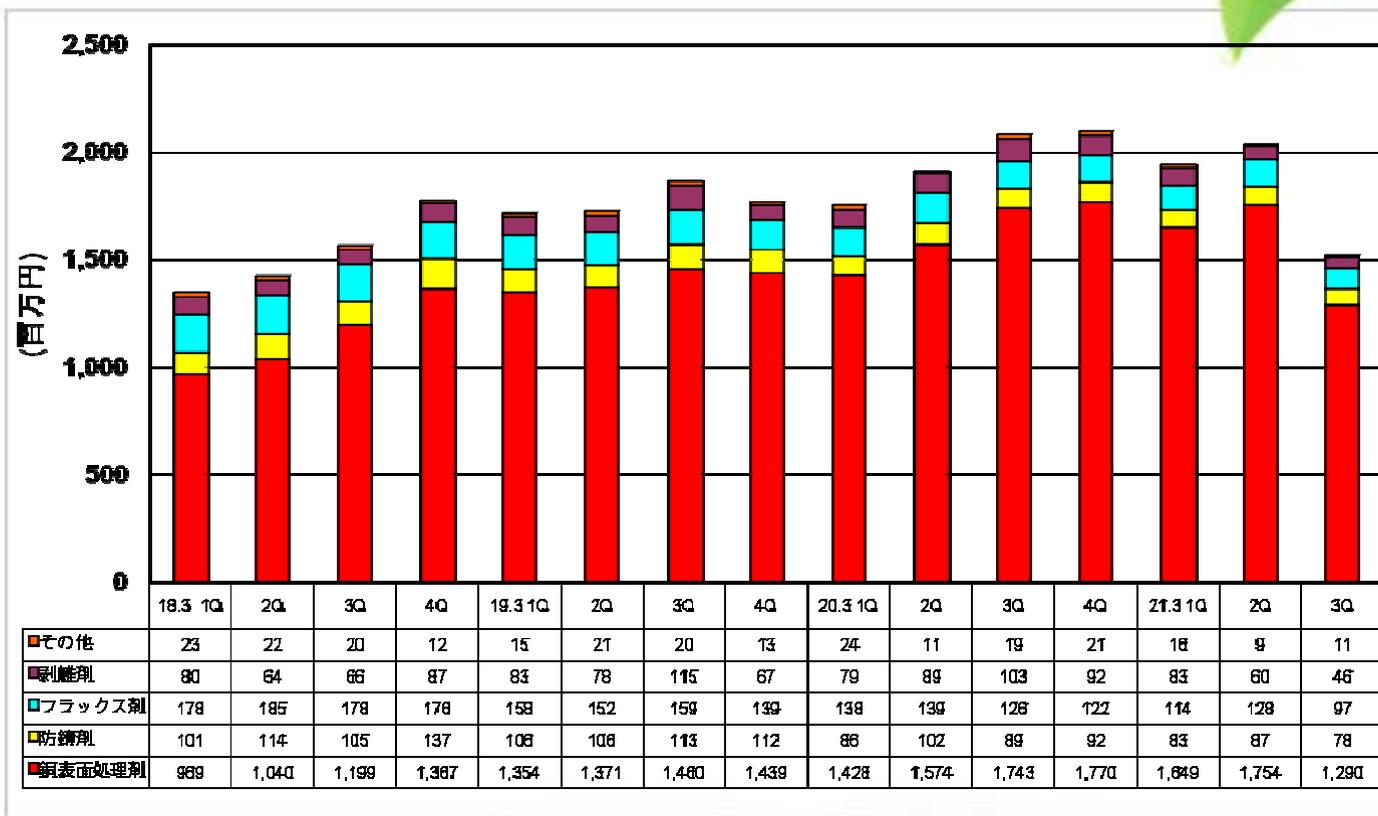
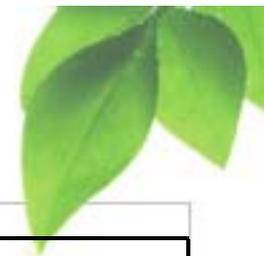
品種別四半期推移 連結



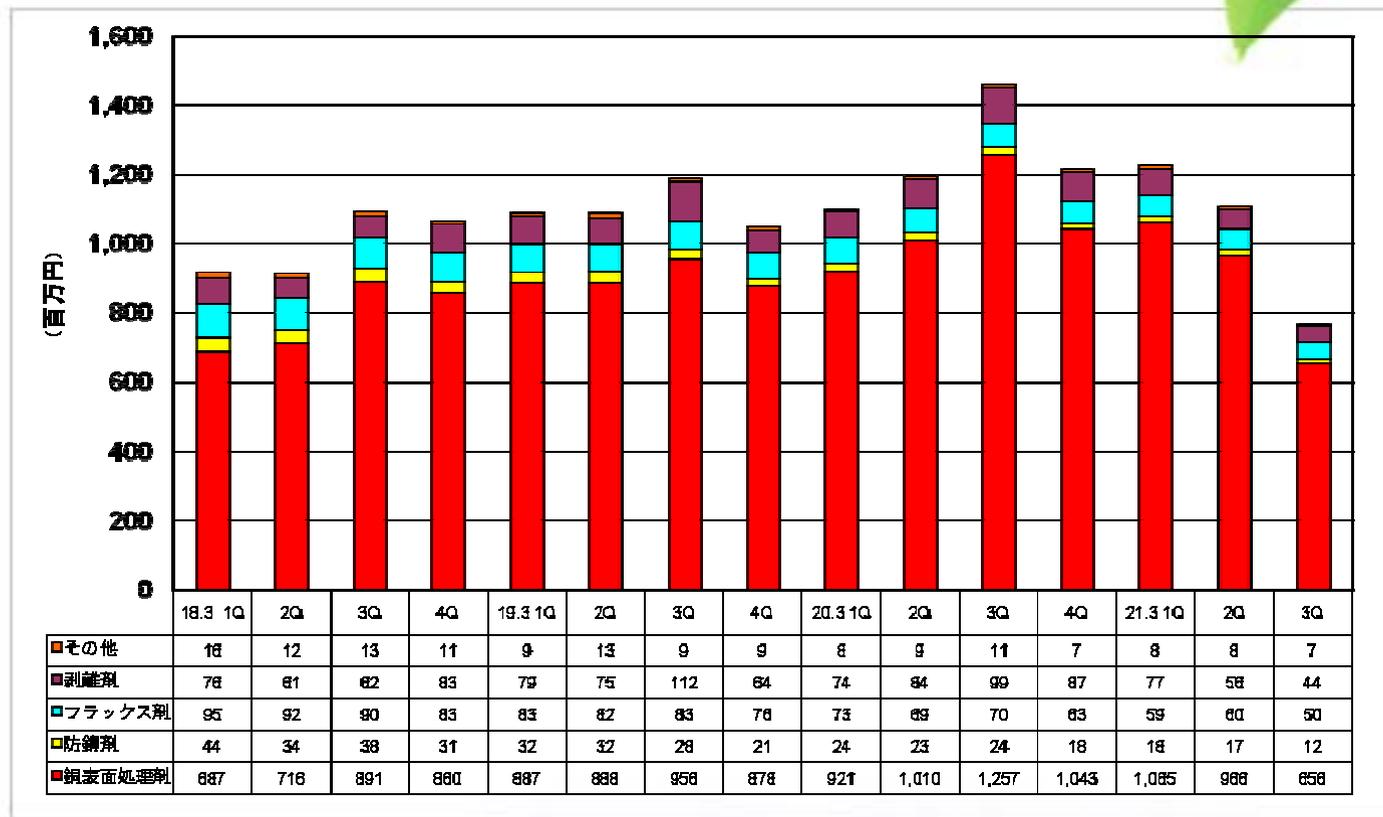
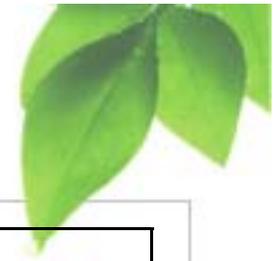
品種別四半期推移 < 単体 >



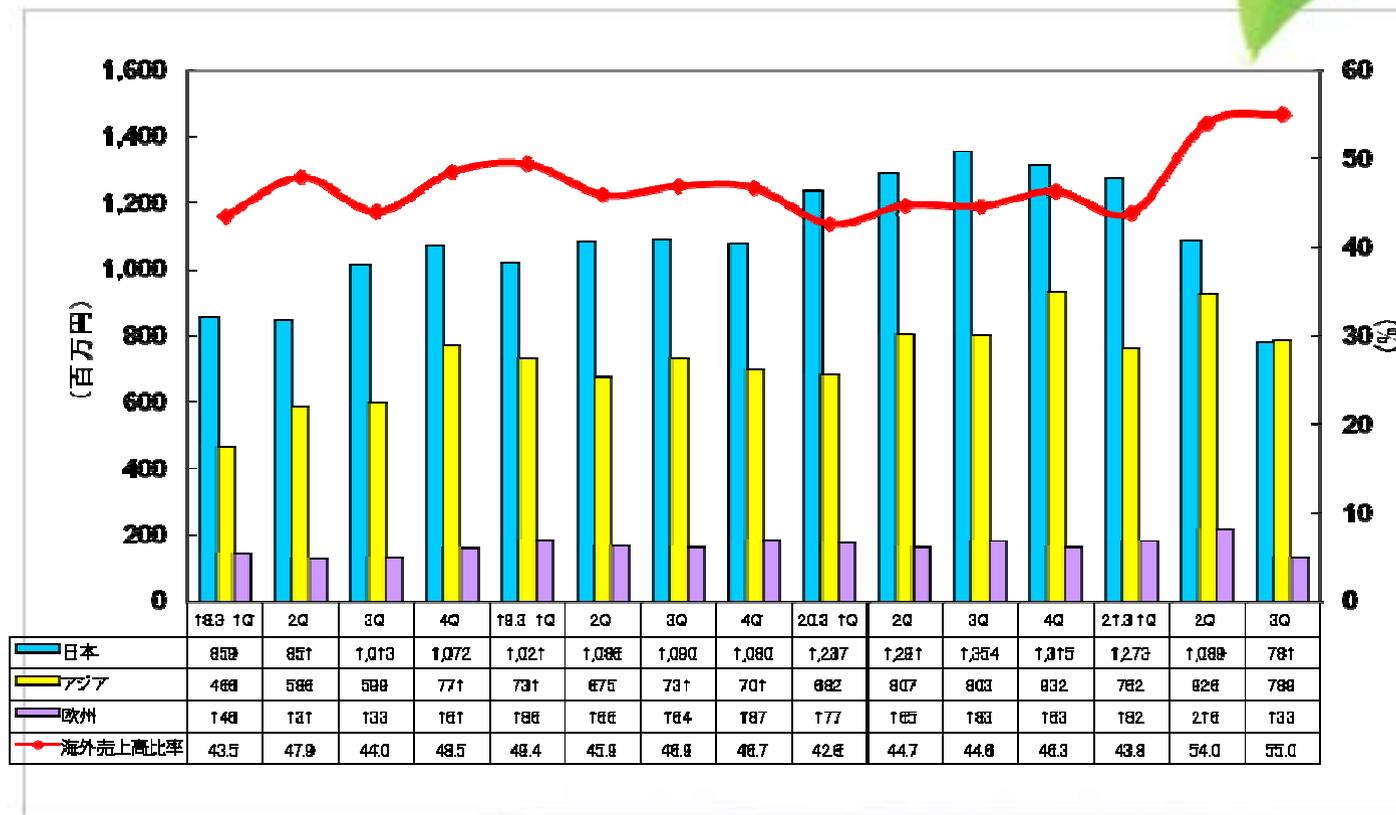
薬品別四半期推移 連結



薬品別四半期推移 < 単体 >



地域セグメント別売上高推移と海外比率



第40期(平成21年3月期)計画



連結

	平成20年3月期	平成21年3月期		
	前期実績 (百万円)	今期予想 (百万円)	前期比 (%)	増減額 (百万円)
売上高	9,115	6,858	75.2	2,257
営業利益	2,103	745	35.4	1,358
経常利益	2,057	536	26.1	1,521
当期純利益	1,426	320	24.2	1,106

単体

	平成20年3月期	平成21年3月期		
	前期実績 (百万円)	今期予想 (百万円)	前期比 (%)	増減額 (百万円)
売上高	6,589	4,675	71.0	1,913
営業利益	857	242	-	1,100
経常利益	1,054	203	-	1,257
当期純利益	754	133	-	887

業績予想修正のポイント



日本単体が売上高54億11百万円から46億75百万円(7億35百万円減)、
営業利益は2億45百万円から2億42百万円の営業損失(4億88百万円減)。
主な要因は、半導体市況の悪化により台湾と韓国、東南アジア輸出分も
含めPKG基板の激減による。

海外子会社は為替見直しがあるものの黒字確保。

対処

コスト低減

販管費を精査し、原油由来の仕入品の値戻し、製造地や運送方法の
見直し等、コストダウンに注力。

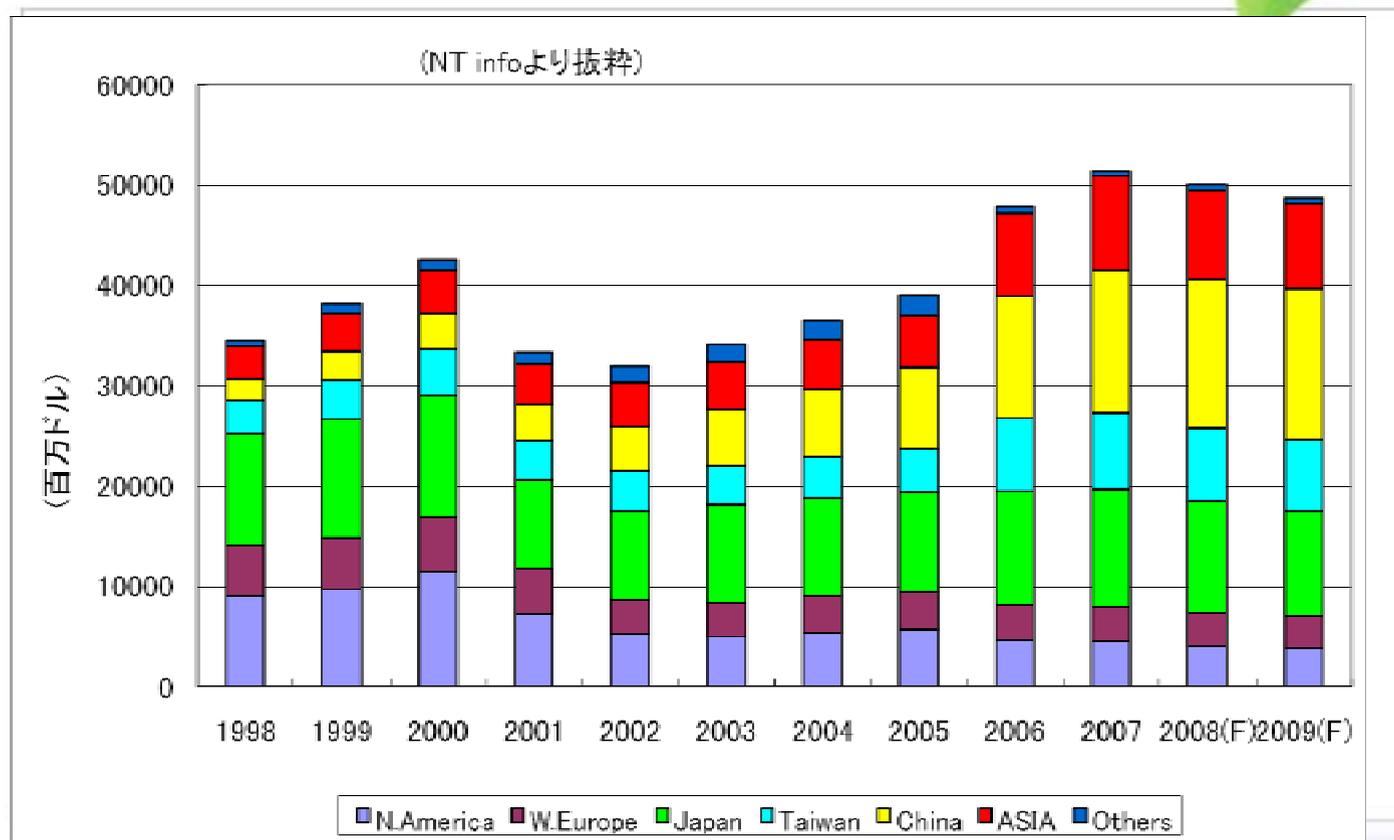
新製品の拡充

ハイパフォーマンスで低コストな新製品の受注を確保し、
収益向上を図る。

メックを取り巻く事業環境の変化



世界電子基板生産額推移予想



今後の計画ポイント



1. 客先の環境負荷低減に寄与する取り組み
2. 環境対応多層基板向けプロセスへの展開
(日本を含む東アジア)
3. 高密度基板プロセスの開発
(日本・台湾等)